



幼児の教育 第116巻 第1号 平成29年1月1日発行 ISSN0289-0836

子ども学の源流を次世代につなぐ

# 幼児の教育

[特集] 保育現場で気になるコトバ考  
「協調性」とは……？

[リポート] こども園をつくる  
文京区立お茶の水女子大学こども園の記録  
vol.3 「私たち」意識が醸成されていく

[実践研究] 私の保育ノート  
三歳児の気持ち

第116巻 第1号 日本幼稚園協会

冬 2016  
2017  
since 1901



ししまいたちが踊りだす

**写真**  
子どもの情景 ①

## 私の保育ノート

三歳児の気持ち 関口 恵 22

**目次**  
法兰クな関係 ②

## おばあちゃん育ての「新しい」日々

瀧田節子

26

法兰クな関係 ②

## 保育現場で気になるコトバ考 12

**特集**  
「協調性」とは……? ④

《view 視野》

協同する子ども、協働する保育者 前原 寛

**保育エッセイ**  
四季の子ども ④

浮子の冬 川田 学 30

5

**本棚**

## 古興の散歩道

子どもの世界への通路 田代和美

34

共に暮らす中で育つことと  
「協調性」を育むもの  
あの「子どもの子と私の関係がつくる時間の流れ

佐藤菜穂子  
北山ひと美

森義一 17

**リポート**  
「Jども園をつくる

—文京区立お茶の水女子大学「Jども園の  
記録— Vol.3

「私たち」意識が醸成されていく  
高里暉美

**特集 memo** 21

40

# 目次

表紙の図柄は、お茶の水女子大学附属幼稚園内にある  
ステンドグラスの模様をデザイン化したものです。

## 幼児の教育アーカイブズとの対話 ⑦

「アメリカ教育使節団報告書」を通して見る

戦後幼児教育への希望（後編）

織田望美

46

## そこにある子が子どもであるということ」と④

「子ども観」と「子どもの見え方」

浜口順子

50

## 論考

### 童話がよく語られていた時代

— □ 漢童話と幼児教育の関係 中村美和子

56

## 目録

### 「幼児の教育」平成二十八年総目録

62

## 目録

### 子ども学のひろば

イベント・メディア情報

読者投稿・編集後記 他

63

## 法兰クな関係

まど

幼稚園の廊下で、四歳の男児が、机と椅子とゴミ箱を自分の周りに並べ、黙々と三色の紙をドーナツ型に切っている。お店屋さんではなく、公開の作業場のようになっていた。作業工程は綿密に秩序立てられ、型通り、寝かし、穴開け、陳列、切れ端の処理まで、見事なさばき様だ。話し掛けでみるが、田は合つても一切返答なし。緊張感が漂う。通りがかる保育者も子どもも、足を止めて見ていくことはあっても、話し掛けず通り過ぎていく。と、突然、道真や作品一切、作業台もきれいに整えて保育室の方に行ってしまった。そして、同じ子どもとは思えない明るいほぐれた表情で、ままだと「一人で遊んでいた子どもたちとやりとりを始めた。私は、軽い衝撃を受けた。

歐米視察から帰った倉橋惣三は、「教育性の丸しき我国の社会」（二九二二年）の中で、「各自の思い通り伸させて、外から世話をやき干渉や圧迫をしないでやらせていく」生活は人を正面（フランク）なものにするが、わが国の生活は欧米に比べ法兰クでないと指摘した。百年前と今を比べてどうだろう、相手の法兰クネスを認め合う法兰クな関係が、子ども同士においても保育者間においても育ってきたのだろうか。（H）

## 編集後記

「先生は、心をひとつにしてってよく言うけど、心をひとつにするってどういうことなのかな?」

ある日の帰りの集まりで、A児(5歳児)が発した言葉です。年長組の子どもたちを受け持つと私がよく言う(らしい?)、「心をひとつにしてね」。A児の素朴な疑問に、クラスの子どもたちが、思っていることを日々に言い始めました。

「心を出して、ここら辺(保育室の真ん中辺りを指しながら)に集めるの」「みんなの心を少しずつ自分の中に入れるんじゃない?」などなど。途中、「心を出しちゃったら、こんなふうになっちゃうよ」と脱力して椅子から床にごろんと転がる人も出現。

みんなで笑い合いながら、しばし「心をひとつにする」ってどういうことかに思いをめぐらせました。何を隠そう、この私自身、よく考えずに使っていたことを反省。時折笑いが入る緩やかな雰囲気の中、

正しい答えを出そうとするのではなく、それぞれが感じていることに互いに共感し合っていく。「協調性」について考えていたら、そんな子どもたちの姿が浮かんできました。

第113巻(2014年)春号から本号までの12回にわたる特集「保育現場で気になるコトバ考」、いかがでしたか? 保育の中で何気なく使っている言葉、最近よく耳にするようになった言葉の「根本の意味」を問い合わせていくことは、創刊当初からの本誌を貫く信念です。ご寄稿くださった多くの先生方のお考えに触れる貴重な時間となりましたこと、感謝の気持ちでいっぱいです。そして、毎回楽しみだった「四季の子ども」の川田先生、「おばあちゃんの孫育て日誌」の瀧田先生、子どもの世界への温かなまなざしあふれる連載を本当にありがとうございました。皆様にとって、来年も良い一年となりますように。(S)

## 次号予告 幼児の教育 春号 2017年3月刊行予定

新企画、新連載がスタート! 充実した内容でお届けします。

新 特 集 保育を「根本考察」してみよう 1  
—「いい子を語る」— 荒井 刑氏ほか

新 連 載 保育エッセイ 佐伯 胖氏

論 考 NHK教育番組「おはなしのくに」などの制作にかかわって(仮) 坂元英子氏

※タイトル・内容が変更になる場合もあります。

## 幼児の教育 冬号 第116巻 第1号

平成29年1月1日発行

発 売 所/株式会社フレーベル館

編 集 委 員/伊集院理子

編集発行人/浜口順子

電 話/03-5395-6604(編集)

伊藤綾子

編 集 担 当/田中恭子

振 替/00190-2-19640

菊地知子

発 行 所/日本幼稚園協会

印 刷 所/国書印刷株式会社

佐藤寛子

〒112-8610

定 価/本体834円+税

編 集 協 力/フレーベル館

東京都文京区大塚2-1-1

©日本幼稚園協会 2017 Printed in Japan

お茶の水女子大学附属幼稚園内

●ご購入のお問い合わせは、フレーベル館までお願いします。03-5395-6613(営業)●

## 保育ナビブック 第3弾

※保育ナビ（月刊保育誌）から生まれた新シリーズ。  
保育現場で気になるテーマをしっかり掘り下げます。

# 目指せ、 保育記録の達人！

## **Learning Story + Teaching Story**

保育記録は、子ども理解を深め、同僚や保護者と子どもについて語り合うためのツールです。保育者の専門性を高め、質の高い保育実践を行うための記録の書き方を提案します。

共著：河邊貴子（聖心女子大学） 田代幸代（共立女子大学）

シーンに適した様々な保育記録の書き方と活用の仕方がわかる!

※画像は見本です。変更になる場合があります。

## CONTENTS

- ## ●第1章 保育者の専門性と保育記録 ●第2章 様々な様式の保育記録

- 第3章 保育実践に記録を生かす
  - 第4章 園内研修に記録を生かす
  - 第5章 保護者との連携に記録を生かす



# 保育ナビブック 第4弾!

※保育ナビ（月刊保育誌）から生まれた新シリーズ。  
保育現場で気になるテーマをしっかり掘り下げます。

# 私たちの まちの園になる

～地域と共にある園をつくる～

今後、園・保育施設は、地域コミュニティにおける子育て全般の担い手になることが求められます。子ども、保護者、地域を巻き込みながら、「まち」の中心にある園になるための取り組みを、具体的に紹介します。

共著：秋田喜代美（東京大学大学院） 松本理寿輝（まちの保育園代表  
まちの保育園

全80ページ 26×18cm  
定価 本体1,800円+税  
109-55 ISBN978-4-577-81406-2

施設の様子や、そこで働く職員たちの声、取り組み内容を具体的に紹介！



## CONTENTS (一部抜粋)

- 第1章 暮らしの場をデザインする
  - 第2章 子どもたちを育む人々
  - 第3章 子どもたちにとっての「まち」の役割

※画像、内容は変更になる場合があります。

- 第4章 地域と園のあり方を探る(座談会1)
  - 第5章 園にとって「まち」とは?  
「まち」にとって園とは? (座談会2)